

事業所名

obrigado多賀教室

支援プログラム

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		放課後等デイサービスを通じて、子どもたち一人ひとりの未来を支える環境を提供します。学校や家庭とは異なる多様な時間・空間・人間関係・体験を通じて、子どもたちの成長を温かく見守り、その瞬間を大切にします。そして、ご家族と共に喜びを分かち合いながら、子どもたちが自分らしく成長できる環境を築いていきます。						
支援方針		子ども一人ひとりの特性を尊重し、個々に適した支援を行います。学校や家庭とは異なる多様な体験を提供し、安心・安全な環境のもとで成長を見守ります。コミュニケーションや社会性を育む機会を大切に、ご家族と連携しながら共に子どもたちの未来を支えます。自立に向けた日常生活スキルの習得を促し、自己肯定感を育む支援を行います。また、職員の専門性を高め、地域や専門機関と協力しながら、より質の高い支援を目指します。						
営業時間		平日	12時	30分	17時	0分	送迎実施の有無	送迎サービス（あり）
		学校休業日	9時	00分				
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	利用者の健康状態を把握し、適切な生活リズムの確立を支援します。食事や運動を通じた体力づくりを促すとともに、衛生管理や身だしなみの指導を行い、生活習慣の定着を図ります。また、安心して過ごせる環境を整え、心身の健康維持に向けたメンタルケアにも配慮します。日常生活に必要なスキル（着替え、食事、排泄など）を段階的に指導し、自立に向けた支援を実施します。家族や関係機関と密に連携し、継続的な支援を提供することで、健康で充実した生活が送れるよう支えます。						
	運動・感覚	発達段階や特性に応じた運動感覚の支援を行います。基本的な身体の動きを養うために、ストレッチやバランス運動を取り入れ、姿勢保持や筋力の向上を促します。さらに、ボール遊びやリズム運動を通じて、協調運動や空間認識能力の発達を支援します。また、感覚過敏や鈍麻のある子どもには、ブランコやトランポリン、触覚遊びなどを活用し、適切な感覚刺激を提供します。無理のない範囲で楽しく取り組めるプログラムを工夫し、運動機能の向上を図るとともに、自己表現の幅を広げる支援を行います。						
	認知・行動	認知機能や行動特性に応じた支援を行います。記憶力や注意力の向上を目指し、パズルや視覚支援を活用して計画的に行動する力を養います。また、感情のコントロールを促すために、ソーシャルスキルトレーニング（SST）やロールプレイを取り入れ、適切な行動を身につけます。予測可能な環境を整えることで不安を軽減し、成功体験を積み重ねながら自己肯定感を高めます。これらの支援を通じて、認知機能の向上と行動の安定を促し、子どもが安心して成長できる環境を提供します。						
	言語コミュニケーション	発達段階に応じた言語コミュニケーションの支援を行います。言葉の理解や表現力を高めるために、絵カードや視覚支援を活用し、語彙の習得や会話の練習を行います。ジェスチャーやコミュニケーションツールも取り入れ、意思表示の幅を広げます。また、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じて、適切な対人コミュニケーションの方法を学びます。安心して伝えられる環境を整え、成功体験を積み重ねることで、自信を持って表現できる力を育みます。						
	人間関係社会性	発達段階に応じた言語コミュニケーションの支援を行います。言葉の理解や表現力の向上を目指し、絵カードや視覚支援を活用して語彙の習得や会話の練習を行います。また、ジェスチャーやコミュニケーションツールを取り入れることで、意思表示の幅を広げます。ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じて適切な対人コミュニケーションの方法を身につけます。安心して表現できる環境を整え、成功体験を積み重ねることで、自信を持って伝える力を育みます。						
家族支援		保護者の悩みや困りごとに寄り添い、専門的なアドバイスや情報を提供します。子どもの特性に応じた関わり方や生活習慣のサポート方法を伝え、家庭での実践を支援します。日々の活動や成長の様子を報告し、家庭と連携しながら子どもの成長を支えます。また、兄弟姉妹の気持ちや関わり方にも配慮し、家族全体で支え合える環境づくりをサポートします。			移行支援		就労を目指す場合は、職場体験や仕事の基礎トレーニングを提供し、適性に合った進路選択を支援します。自立した生活を送れるよう、食事・着替え・掃除・金銭管理などの日常生活スキルを段階的に指導します。社会生活に必要なコミュニケーション力を育むため、対人関係の築き方や適切な自己表現を学びます。	
地域支援・地域連携		地域とのつながりを深めるため、イベントや交流活動を実施し、子どもたちが社会と関わる機会を増やします。福祉・教育・医療機関と連携し、支援体制を強化します。地域の施設やサービスを活用し、継続的な支援を行います。			職員の質の向上		職員の専門性向上のため、定期研修や勉強会を実施し、支援技術の向上を図ります。情報共有を強化し、子どもに最適な支援を提供できる体制を整えます。外部機関と連携し、質の高い支援を継続します。	

主な行事等

子どもたちが楽しみながら成長できるよう、季節ごとの行事を実施します。
春はお花見や新年度交流会で新しい環境に慣れる機会を作り、夏は七夕祭りや夏祭り、遠足で季節の楽しみを体験します。
秋は運動会やハロウィンを通じて身体を動かし、自然と触れ合う機会を提供し、冬はクリスマス会やお正月遊び、節分イベントで日本の文化に親しみます。
これらの行事を通じて、社会性や協調性を育み、楽しい思い出を作ります。